

論文審査の結果の要旨および担当者	
学位申請者	高橋 悠里
論文担当者	主査 竹村 基彦
	副査 若林 一郎
	副査 小山 英則
学位論文名	Effect of baseline renal and hepatic function on the incidence of adverse drug events: the Japan Adverse Drug Events Study (腎肝機能が薬剤性有害事象の発生率に与える影響の評価 (日本薬剤性有害事象研究より))
論文審査の結果の要旨	
<p>多剤併用を含む日常診療において、臓器機能と薬剤有害事象(AE)の関係、AEの死亡率に与える影響についての検討の報告はない。本研究は「日本薬剤性研究 (JADE study)」のデータを用いた後ろ向き研究によりこれらの関連性を明らかにしようとしたものである。</p> <p>3 市中教育病院での 15 歳以上の 3459 名の対象者のうち 2508 例を解析対象とした。うち 546 例が AE を発生したと判定した。腎機能を eGFR により正常・中等度障害・重度障害の 3 段階に分類すると、腎機能障害の重症度により AE の発生率が有意に異なっていた。4 種の肝機能検査値の 1 種以上の異常の有無により肝機能障害の有無を分類した。肝機能障害の有無によっても AE の発生率は有意に異なっていた。腎機能、あるいは肝機能に障害のある群では投与薬剤数と AE 発生率に関連は認められなかった。AE を発現した患者は発現しなかった患者に比べ死亡率が高く、これは腎機能中等度、重度障害、肝機能障害ありの各群でも同様であり、さらに、これらの臓器機能障害のある群では肝腎機能が正常な群より死亡率が高かった。</p> <p>これらの結果は肝腎機能障害をもつ患者のモニタリングシステムの強化、最適な薬剤使用の徹底により AE の減少、死亡率の低下につながる可能性を示唆するものであり、Drug Metabol. Pers. Ther. 誌電子版に掲載され、印刷中である。学位審査委員会は「課程による者の学位論文審査等に関する申し合せ」第 5 条及び 7 条の学位論文の要件を満たすものと考えた。</p>	